



紅梅

花言葉・・・「エレガント、優美」

校長 山浦 麻紀

## 感謝（心と心）

3月5日は「啓蟄」。(けいちつ：二十四節気のひとつで啓は開く、蟄は虫が地中にもぐる)この頃になると少し暖かくなり、虫も穴からモゾモゾっと少しずつ出てくる時期となります。草花も新芽を伸ばし蕾もユルユルッと膨らみ始める時期となります。岸中の体育館横にある紅梅も開花し、春の訪れは「もう、そこ」です。

3月、学校では本年度のまとめの季節、そして、別れの季節でもあります。3年生は中学校3年間でお世話になったり助け合ったりした、友人やクラスの仲間に感謝・保護者の方に感謝・地域の方々に感謝・先生方に感謝の心を持ちながら、残りわずかな岸中学校での学校生活を過ごしてくれています。そして、いよいよ卒業式の練習も始まります。3月14日(金)が第78回卒業証書授与式です。きっと、きっと、自慢の3年生だからこそ、9年間の義務教育の修了となるこの日、未来に向けて心に残る立派な卒業式を迎えてくれるものと思います。

「気品の岸、美の学園」の愛らしい全ての3年生が、自分のよさを伸ばし続け、颯爽と前へ歩み続けてくれることを願います。

2年生の「卒業生に学ぶ会」では、5名の卒業生に来校して頂きました。有難うございました。身近な先輩が、いつ頃、どのような思いで頑張り抜き、今現在、どう Well-being な高校生活を送っているかについて話をして頂き、生徒達は目を輝かせて聞き入っていました。嬉しい限りです。

1年生も2年生も、行事や部活動、授業をとおして実にこの一年間で大きく成長してくれました。先輩としての自覚や、最高学年に向けた風格も見られるようになりました。3月4日は、全校生徒で集まる最後の朝礼です。色々と面倒を見てくれたり、学校生活や行事、部活動においてよい手本を示してくれたりした輝かしき3年生へ、感謝の気持ちをたっぷり込めた、心と心の通い合う時間と空間になって欲しいと思います。

「脱コロナ もっと岸中 前へ！」の令和6年度も、残りわずかとなりました。エレガントに今年度を締めくくり、エレガントに次年度をスタートできますよう、教職員も全員で前へ進んでまいります。保護者の皆様方、地域の皆様方、同窓生の皆様方には、いつも本校の教育活動にあたたかな御理解と御協力をいただき、有難うございました。